

第 2 回 富浦地区学校再編検討委員会次第

日時 平成 2 1 年 1 月 2 2 日 午後 7 時

場所 南房総市役所別館 1 大会議室

1. 開会

2. あいさつ

3. 議事

(1) 小学校の位置について

(2) 個別合意事項について

① 通学支援について

② 児童の交流事業について

③ PTA 組織と行事について

(3) 小学校再編（統合）期日について

(4) 第 3 回 検討委員会の日程について

4. 閉会

第2回富浦地区学校再編検討委員会

平成21年1月22日（木）午後7時
南房総市役所 別館1 大会議室

記録者 高橋 政人
欠席委員 榎本 和彦
山田 創一

(1) 開会

(2) 委員長・教育長あいさつ

(3) 議事

事務局 これより議事に入ります。

設置要項第7条第1項の定めにより、委員長に議事をお願いします。

委員長 本日の検討委員会に傍聴人の申し出はありませんでした。

本日の出席委員は17人です。過半数に達しておりますので、会議は成立いたします。

委員長 「議事第1号 小学校の位置について」を議題とします。

両小学校の施設概要現況及び、児童数の現況と推移、並びに富浦地区における、両小学校の距離と位置関係について、事務局より説明させます。

事務局 小学校に再編は、いずれかの小学校舎を活用して再編する方針です。

- ・児童数推移予想
- ・学級別人数、クラス数予想
- ・施設の概要
- ・校舎の建設年度、耐震
- ・位置関係 について説明

委員長 協議に入ります。

施設について、どちらの学校を使うか、距離、通学支援について委員の皆さんの意見を求めます。

委員 どちらかの施設を使うとなると、クラス予想や空き教室、今の規模

からすると八束小では無理ではないか。位置は富浦小学校施設を活用することとなるのではないか。

委員長 他にどうですか。

委員 統合の問題は、学区民から見ると学校の位置が決まれば80%決まる。この問題は、学区民に投げかけ不安や不満を聞く必要がある。急ぎすぎではないのか。位置は最後に協議してはどうなのか。

委員 学区民の意向がわからない。

委員 意見に同感です。統合は周知の事実とおもわれるが学区民の質問に答えることができないのではないか。学区民はどのような意見があるか把握できていない。意見を吸い上げる場を設ける必要があるのではないか。

委員 不安がある。自分達もわからない。後で不満が出るのではないか。

委員長 他の考えを聞きたいと思います。皆さんの意見をもう少し聞きたいと思います。

事務局 検討委員会としては現状を把握してもらい、学校再編にあたり、どちらかの施設を利用していくか方向づけ、方針案を協議検討する検討委員会です。再編方針案を地域へ示していくためですので、委員のみなさまのご意見を伺いたい。

委員長 検討委員会として、一つの方向を示していきたい。

委員 検討委員会の方針案を出したとき一人歩きすることが心配される。保護者の不安意見を把握し、一般の学区民の不安を解消していくべきではないか。学区民に周知と理解をどう進めていくが考えていかななくてはならない。

委員長 ほかの委員の方々のご意見を伺いたい。

教育長 北見原小と南三原小の再編を推進実施したケースを参考に、学校再編の推進を図りたい。地区学校再編のベースとしてのたたき台がないと話し合いが進まないことから、地区に出る前に、検討委員会の方針案を十分協議検討し、それを持ち学区民に示して説明し、意見を出してもらい、また検討委員会でも協議検討した。これを繰り返し実施することで、感情的にならずに済んだ。手間はかかるが検討委員会を根幹として学校再編を推進する。

是非、忌憚のない意見を出していただき、検討委員会としての方針案をまとめていただきたい。

委員長 検討委員会としての見解を出さないと、学区民の意見を求めづらい

と思いますがいかがですか。

事務局 検討委員会の方針案は多方面から検討し、これを学区民に示して意見を聞きながら周知にあたっていきたい。位置を示すことによって具体的に考えることができるので、1番目の提案にさせていただいた。委員の皆さんのご意見を聞いた上でたたき台にしたい。通学方法にも関連してくる。位置はいろいろな要素が含まれている。

委員 学区住民に学校統合に対する意見を聞くべきではないのか。

委員長 学区住民に説明し意見を求めるために、検討委員会としての方向を示す必要がある。

委員 再編スケジュールはどうなるのか。

委員長 スケジュールはこれからの検討事項となる。

委員 学校の位置は急いで決める必要はないのではないか。施設面ばかりでなく機能面も考えた配慮が必要である。

委員長 検討委員会として方針案を示すことが必要ではないか。

事務局 検討委員会の位置づけですが、地区の事情を把握検討し、課題の解消策を協議し、学校再編方針を立案する。これを地域の皆さんに報告説明し意見をいただき、地区の理解と再編に関する合意を得ることを目指す検討委員会です。方針案としての基本的合意事項である学校の位置を検討協議するものです。

委員 小学校の位置について、どちらかにしなければいけない。ある意味結論が出ているなかで話が進んでしまう。個別の合意事項をあわせて話し合った方がいいのではないか。

委員長 決定ではなく両論併記ということもあり得る。八束小学校の方がいいというご意見はありますか。

委員 富浦小と八束小の施設の格差はあるのか。

事務局 児童数は富浦小が3倍。校舎面積は富浦小の方が広い。耐震性は教室棟がやや不足。教室数は富浦小の方が多い。八束小は校舎運動場敷地とプールが離れている。八束小学校では1学年1学級編制の普通教室が確保できない。また特別教室の図書室とパソコン教室が1教室となっている。

委員長 八束小学校のほうがいいという意見はありますか。

委員 環境的には八束小学校の方がいいが、物理的な面を考慮すると八束小学校では無理ではないか。

委員長 富浦小学校の関係者はどうですか。

委員 耐震工事を考えると教室棟だけの富浦小の方が施設的には整って

いる。通学の問題が一番心配。

委員長 仮に八束小学校を活用した場合どのようなことが考えられますか。
事務局 特別教室と管理棟などの機能面からは、富浦小の場合は平成13年度に建設され耐震の心配ない。

普通教室はともに耐震補強が必要です。教室数では富浦小の方が建て増しについて軽減が図れる。

委員長 地区への説明時には、これらの内容を説明しなければいけない。施設について他にいかがでしょうか。

はっきり今日させるのではなく、「こういう条件で行くと、こうなるのではないか」でいきたい。耐震性と収容能力、特別教室の問題など機能面からも検討したい。

委員 何か物事を進める場合、上からよりも下からの方がスムーズに行くのではないか。統合することに検討委員会としては決まった。区長として区民に聞くという話だが、今こういうことが検討されていると説明した方がいい。富浦になった場合は通学の問題も出てくる。

委員長 学区民の人の意見を聞くにしても、どちらの小学校を活用するか感情ではなく、施設環境面や機能面を考えて方針を示していきたい。

委員 検討委員会を知らない保護者もいる。委員のメンバーを知らない保護者もいる。資料をみればどちらの校舎がいいかわかる。資料を見た方がいい。保護者にも話をしなければいけない。

委員 検討委員会の内容は保護者に説明する機会はどうか。

委員長 PTAとして保護者の方々に対して説明していただきたい。

委員 事前に話し合う時間もなく資料も見たばかりです。他の保護者の意見も聞いていない。

教育長 方新案を検討委員会で作っていただきたい。方針案をここでまとめていき、それを持ってお話いただきたい。基本的な方針案を検討委員会で作る。

委員 保護者に説明する時は事務局が来てくれるのか。

教育長 丁寧にやっていきたい。基本的な方針案がないと学区民への説明ができないと思われる。その他いかがでしょうか。

委員 再編後の通学支援をどう考えていくのか。

事務局 再編後はスクールバスの支援を基本的に考える。現状では南無谷の一部地域において、国道事情から通学費のバス補助を行っているが、両小学校とも徒歩通学を基準としています。

委員長 それぞれの校舎の現状などから、耐震性と収容能力が明らかになっ

てきたのではないのでしょうか。

委員 どういう合併なのか。合併にかかわる適正規模はどのようなのでしょうか。人数37、8人というクラスが出てくる。八束少人数できめ細かな指導がされているが、人数が増えた時の逆のメリットも検討していく必要がある。

委員長 どのような合併か、対等なのか、吸収かということですか。対等な合併であり、いずれかが吸収されるわけではない。対等の立場で再編するものです。人数による教育効果。統合されることによつてのメリットが出てくる。

委員 そのメリットの説明責任もある。加配教員、ボランティア、少人数化、習熟度、学力の保障をしている八束小の場合もともと少人数なわけであり、そのメリットを提示していく必要もあるのではないか。

事務局 加配等の関係。再編2年間は教員の増置が採れる。子供達を見守って手厚くできる。現状における極端な少人数学級では、男女割合の弊害が生じており、学年における集団学習ができづらい学習状況と考える。再編後における1学年の人数は限りなく40人に近いクラスもあるが、再編してもなお小規模学校です。学校再編の主たる目的は、男女割合の改善し、集団で学べる学習環境を目指すものです。

委員長 個別合意事項についてはどうですか。

事務局 どちらにしてもスクールバスでの通学支援を検討していきたいと考えます。交流事業として、再編する前に児童の交流を図っていく。PTA組織の組織統合、統合期日が見えてきた段階で、内容、スケジュールがはっきりするものと考えます。

委員長 このようなことを検討していく必要がありますが、意見はありませんか。

委員 意見なし

委員長 再編期日について、事務局説明してください。

事務局 平成23年4月1日を目標期日として提案させていただきます。

委員長 いかがでしょうか。平成23年4月1日の統合期日を目指す提案ですがいかがでしょうか。ご意見をお願いします。

委員 スケジュールはどうあるのか。

事務局 第3回の委員会でスケジュールについて案を示しながら検討いただきたいと考えます。

委員長 ご意見をお願いします。意見ありませんか。細かいスケジュールは次回検討委員会で提案されます。

委員 承認 意見なし
委員長 第3回検討委員会の日程を事務局より説明させます。
事務局 第3回検討委員会を2月17日火曜日午後7時からいかがでしょうか。
委員 17日は地区の行事がある。
委員長 2月18日水曜日ではどうですか。
委員 18日だと出られない。
委員長 19日木曜日ではどうですか。
事務局 予定としては、17・18・19の三日間で調整し委員長と協議し、決定させていただきたく提案いたします。
委員長 事務局に一任でいかがでしょうか。
委員 事務局に一任
委員長 最後に、ご意見ありますか。
委員 なし
委員長 次回はスケジュールと学校の位置を議題とします。
以上で、議事を終了します。
事務局 これをもちまして、第2回検討委員会を閉会いたします。